



菜の花と梅 (浜離宮恩賜庭園)

高層のビルを背にする
はなな
花菜苑
梅も競って
しゅん
春信に笑むる

2月の松原教室

参加者数	会員	ゲスト	計
2月7日	18	2	20
2月21日	13	6	19

★料理内容

- ・鶏肉と白ねぎの黒酢炒め
- ・蓮根のシュウマイ
- ・牡蠣と白菜と蕪のミルク煮
- ・春菊とお揚げの煮びたし

今月のレシピのメインは牡蠣、シュウマイ、鶏肉と、とりどりでした。また、企業年金受給者など対象の雑誌「ねりん」「いきいきライフさん」の取材でサンライフ企画の宮内大輔さんがいらしていました。この雑誌はリタイヤ後の各種活動など特集掲載しているそうです。



取材の宮内さん



「蓮根のシュウマイ」

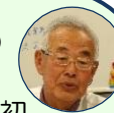
《会員の窓》

(吉田隆直さん)



早いものでおとこの台所に入会してもう10年になりました。時がたつのが速いと感じるのは加齢とともに「近時記憶力」が落ちるからだと言われてます。私は記憶力の劣化をカバーすべくメモをこまめに取る、日記をつけるなどしています。加えてホームページを起ち上げています。本館「たかさんのホームページ」、仕事「よしだ社労士のノート」、趣味の「別館」そして「クラブだより」の4本です。本館のテーマは「健康・生きがい」で、ヒット件数が昨年10万件に達しました。(仕事の方は約5万件) 朝早く起きて、日記をつけたりホームページを更新し、それから近くの公園にラジオ体操に行くようつとめております。

「お酒のこぼれ話」 第28回「岐阜」 (上北沢・前沢正公氏)



美濃の「三千盛」(ミザガ)、東京圏に先発進出。千代菊は全国初の浴用酒「玉の肌」を発売した。飛騨の老田酒造、昭30年代「鬼ごろし」を発売。ベタ甘、三増酒全盛期に辛口純米酒本醸造酒を東京・大阪に出荷したが、現在は各地の蔵元が低価格酒の「鬼ごろし」を発売した為せっかくの元祖「鬼ごろし」の存在感が薄くなってしまった。三つの蔵の創業は1700年代の老舗です。岐阜県は国際的にも有名な観光地を持ち、外国人客が京都と同様に著増している。本格的な歴史とストーリー、さらに温泉地を持っているので地方創生のトップランナーにはなってもらいたい。名物・名所は、飛騨牛、長良川の鮎、下呂温泉、中山道そして「地酒」である。

《地域イベント》

羽根木公園 「梅祭り・野点」



今年も羽根木公園の梅祭りが開催されています。今年の梅は例年に増し奇麗に咲いているようです。2月23日、満開の中、恒例の野点が茶室の庭で行われました。今年はコロナウィルスの影響で茶室などの屋内行事は中止になり屋外限定です。この野点でも、お点前ははじめ和服の女性はマスク着用でした。この感染病も早く静まると良いですね。(上杉英俊・記)

《今後の予定》

- 3月6日(金) 松原教室
- 3月20日(金) 松原教室
- 3月28日(土) 料理講習会
- 5月20日(水) さつき祭